

 評価のポイント

CL-Ⅱ. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

〔9-2〕 小児のフィジカルアセスメント（急変リスクへの対応：事例）

講義中の事例のように、誤った方向にフィジカルアセスメントが向かわないようにするためには、どのような事に留意すべきかを考えてみましょう

フィジカルアセスメントする中で、主訴や小児患者の訴える症状がある場合、症状を同定して、関連疾患を想定した症状の観察とアセスメントに思考が係留してしまう認知バイアスが生じる事があります。

今回の課題を通して、多角的に症状や患者の背景を捉えて考えられることをねらいとします

たとえば、「思い込みや前提を自分で決めつけてアセスメントしない」「入院患者を確定診断に基づいて観察しない」などの回答があると良いでしょう。